

# 1 市民その他回答・自由回答

## (1)自由記述

その他、誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

自由記述
<p>高齢者が施設に入所すると多額のお金がかかり、年金では足りず家族に負担をかけている現状です。古い施設でも空家、空き店を借用して活用したらいかがですか。大変かも知れないが、担当する職員1～2名専門者がいても良いと思う。老人でも昔みな仕事をやった技術を持っている、手当はほんの少しでも良い。老人の生きがいであり、家の中でボーとしている人をもっと活用したらいかがですか。特に女性は料理、清掃、洗濯ができる。気楽に老人のボランティアを募集してはいかがですか。</p> <p>私は35年間県外で勤務して静岡に帰り、災害に関しては非常に高い意識を持っている。このまま現状を高めて貰いたい。</p> <p>みんなが楽しみ、誰でも参加できるイベントを長年やって牧之原市の名前を上げる、いかがですか。</p>
<p>情報の提供と窓口。</p> <p>サービスの周知と利用促進など。島田市は福祉関係が進んでいいと思う。(食事に困った人などにも対応)</p>
<p>「子育てするまち」をテーマとして、まず公園が少なすぎです。医療機関も少なすぎて、隣街まで行かなくてはいけません。まずこの先、牧之原での子育ては人口からも減少すると思われます。「子育てしたくなる街」にしたいですね。道路設備は老人の方や障害者の方には、移動しにくいのではないかと。歩道も狭い。道はがたがた。車は多い。車いすや自転車等には大変で危ないと思います。「街を散歩できる」街にしたいですね。</p>
<p>「とくしまる」のように商店との関りを考えていただければ、お年寄りをもっと助かるのではないかと思います。</p>
<p>市長さん、議員さん、市職員の皆ようが、日頃声に出して助け合う事の大切さを指導していただきたいと思います。</p> <p>電話とか携帯などで頼める機関があればいいと思います。</p>
<p>アンケート結果を市会・区長会・組長会の議題にして、検討・対策をまとめさせて下さい。</p>
<p>いきなり「福祉に興味を持ちましょう」「ボランティアに参加しましょう」というのは難しいと思います。私が通っていた中学校では年に一度、全校生徒が市内のお年寄りの家を訪問して掃除のお手伝いをしたり、お話しを聞く活動がありました。自分の知らない話(戦争のこと等)や遊びを知って、勉強にもなったし、後日お礼のハガキを頂いたりして嬉しかったことを今でも覚えています。それから福祉に興味を持ち、大学時代ではボランティアに参加してきました。まずは、学校行事等で地域福祉に携わる機会をつくるべきだと思います。すでに実行中でしたら申し訳ありません。</p>
<p>一戸一戸の家庭でそれぞれ立場が違い、一つの形に決めてしまう事は良くないと思います。家に年寄りがいて老人のための集まりなど参加していますが、家の人にとって負担や大変な事もあります。自分達の子どもの世話にならなくても参加したい事があつたら、そこまで車に乗れない人も送ってくれる車が当たり前のように呼べたり、買い物で自分で行けるような町になってほしいと思います。</p>
<p>今の牧之原市は国保税・市県民税・水道代が他の市町村と比べて高く、共に助け合う、支えあうにも応分は経済力が必要になるため、生活に余程のゆとりが無いと支援できない。支援をするのに、いつも国や企業の公募に応募してお金を調達している。</p>

### 自由記述

今は車が運転できるからいいけれど、免許を返した後に生活できるか不安です。買い物や用事が有って外出しなければいけない時、どうしようと今から心配しています。平日だけでなく、土日でも相談できる場所があればいいなと思います。

今は母の介護で心身ともに余裕はありませんが、近所の人たちと仲良くし、年上の方たちへの配慮等は可能な限り実行していこうと思っています。そして何より主人と仲良く、健康で楽しい人生をと願っております。今更ですが。

色々手助けしてやりたい家がありますが、「お節介」と思われるので躊躇する。あの人に頼み事はしてみてください、と市から言ってもらえれば、時間の許す限り協力する。

援助を求めている市民の声を個々に聞いて、その人に合った対応を実施して下さい。

大きい企業を誘致して、そこで働く人達に牧之原市に住んでもらう事で大きく税収を上げて貰いたい。個人店などではもはや力が無くなってきているので、少しでも牧之原市の役に立つ企業を誘致していただきたい。大きい企業がきたら潰れるようなお店は淘汰されるべきであり、その分得た税収で福祉関係、教育関係を充実させて暮らしやすい牧之原市にしていきたい。

お世話になっています。ありがとうございます。

お年寄りが、いつでも気軽に立ち寄れる場所ができるといいですね。そこには、子どもたちも出入りが自由だとなおさらいいですね。

介護保険をどのような時に、どのように使えるか知りたい。急に怪我したり病気になったとき、通院、家事一般が困る時。金額、手続き等。書面にさせていただくと保存もできるし（見えるところに）。低年金者対象に教えてください。

買い物に出かけられない高齢者のために、無料で車出したり、食料や日用雑貨を家まで届けてくれるシステムをつくるべきだと思います。

家族の輪から地域の輪へ繋がると思う。特定な人ではなく、皆が楽しく暮らすには地域が家族になるよう、もっと地域活動を多くした方がいいと思う。祭り、公民館、スポーツ大会等もっと充実させ家族同士の繋がりが広がるようにしたら良いと思います。地域活動に支援をしてもらいたい。

学校からのメール（まきはぐ）のアンケートなど（学校に提出するもの含む）本心では記入できません。子どもにも意見を記入せず提出するように言われました。近所の方（ひとり暮らし老人）のお世話（ケアマネさんとのやりとり、ヘルパーさんの手助け）地域の人たちがみんなで助け合って過ごせたら良いと思います。「お金をもらってる」とか「何かおねだりしてる」とか悪い事を言います。そのようなことを言う暇があれば、いずれ自分たちも不自由になった時、頭を下げて誰も助けず笑ってる…。新しい人を受け入れる事ができない地域が残念でなりません。

行政が良くわからないし、日々大したことがない。牧之原のピーアルも外から見ても無いようだと思います。行政に携わるといっても、役所の人間が多い割に無駄が多い。一人でもできるのに二人でやっている。もっと効率よくやり、市が綺麗になり、外に向けて発信してほしい。

強制しない、参加したくなるまちづくり。例：ふるさと納税。

協力する気持ちは少しあるが、どこまでできるか、何ができるかが不明。

極小単位の近所の助け合い組織の確立。（向こう三軒両隣助け合い制度。）すべての自治体において3～5件毎に隣組をつくり、組織化する制度ができれば地域福祉としての日常生活の支えにもなり、非常災害の際の助けにもなる。

## 自由記述

近所にどのような人が住んでいて支援が必要か、声掛け、見守りで確認しておく事が大切だと思う。行政ばかり頼るのではなく、個々人もしっかり生活していかなければいけないと思う。

近所の方と顔を合わせる事が凄く少ないので、もう少し顔を合わせるための何か。集まるのは煩わしく思う人も多いと思うので、回覧板程度の何か。

近所の助け合いは良いと思う。そして子どもの頃はそのような事も見てきたが、今はそれができなくなっている。プライバシーなど色々。日頃から近所とはお互いに助け合えればと思っているが。近所に身体が不自由な人が居るのは知っているが、災害の時はどのようにしたらいいかわからない。年と共に自分の身体が弱くなり、不安だと思える年になってしまった。気をつけて暮らしていくしかない。

近所の付き合いを深める。よう子を詳しく知る。家族構成など。

近所の人と日頃から声掛けをして、地域の行事などで顔を合わせて話をすることによって、その家々の状態も解って困った事があればお互いの助け合いができると思います。普段のニコッとした挨拶が大切だと思います。

近所の皆さまと仲良く助け合っていくこと。

近所は年配の方ばかりになり、新しい世帯が増えることもなく不安。いざという時の力がない。もっと空いている土地に住宅が建ち、活気がほしい。そうなったら地域での行事が増える。顔見知りになり、どこの誰ということが分かる…地域のつながりが増えると思う。子から高齢者とのつながりがほしく、保育園や小・中・高校生と（老人）施設のママなつながりもほしい。町に活気もほしい。店がもっと増えること。バリアフリーの店ももっと増えてほしい。

近所はほどほどのお付き合い。あまり面倒な会は要りません（無理に入会させられます）。福祉・ボランティアは名前だけです。何があつてどのような事をするの？意味がある？金の無駄？だんだんイライラしてきた。昔からそんなに騒いでいたの？何か仰々しいよ。楽に暮らそうよ。

近所を大切に声を掛け合い、親しく友達をつくること。

近隣の人も、他地域でも顔合わせは多い程親しくなれる。よって、合う機会をつくる事が大事である。同趣味の者同士とか知り合いが多くなれば、協力も多くなるのではないかなと思う。

国の政策としてどの市町村でも地域住民の助け合いといいますが、助け合いをするためには、家の中まで踏み込まないとできないことが沢山あります。助ける側（援助する人）は、個人情報などと他言しないよう注意されていますが、本当に援助が必要な人は個人情報を守ってほしいと強く言われてしまうと、なかなか地域住民同士の助け合いは難しいと思います。ひどいかもしれませんが、援助を必要としたときに少し個人情報が守れないことができてしまうことは、理解する必要があると思います。限度はありますが…。例えば民生委員が町内会全員、災害時助けてほしい人を助けて歩くことはできないのですから、隣近所には情報を開示しないと助けには行けません。防災訓練に参加しなくて「助けてほしい」とか言っても、難しいですね。

グランドゴルフの大会などに出て、皆と一緒に体を動かすようにしています。

健康で生きて行けるよう、自分で体を保つために運動をしています。牧之原市には施設が少なく残念です。私の夢は他の市にもあるような多目的なアリーナがあれば、市も勝気ができて良い事が多くなると思います。お医者さんへ行くより、体育館で運動すれば人との交流もあり、良いと思います。

現在自治会の役員をしています。市、区の行政など知らない事を知り、知識が豊富になります。大変ですけど、前向きな考えで楽しんでいます。人との繋がりも増えていきます。

高齢者がいくつになっても働く事のできる環境、また、地域住民が助け合って暮らす事のできるまちづく

自由記述
りを願います。
高齢者が車に乗れなくなった時に、タクシー無料券配布があれば助かります。病院、買い物などに使えるからです。
災害時に避難場所の設備。泊りができる広さがほしいです。
高齢者世帯が増える中、車の利用が無くては生活できない地域です。交通の便も悪く、これから10年後に不安になります。
高齢者の足となるコミュニティバスの充実をお願いしたいと思います。
個人的に今一番不安に思っていることは、市役所の相良庁舎が無くなるということです。もしそうなったら、私たちのような車も運転できない、自転車にも乗れない者はどうしたらいいのかと思うと、これから先どんどん年をとっていくのに、福祉をどのように利用したら良いのかとても不安です。いろいろな手続きの更新や健康診断等、公共施設を利用することが増えてくると思います。身体は動かなくなってくるし、収入は年金だけという生活では、交通費などはとてもまかなえません。そういうところまで考えるのは、福祉からはみ出してしているのでしょうか。このままでは、私たちはどんどんとり残されていきます。今は何とかやっていますが、どうにもならなくなってしまうのは、そんなに遠い先の事ではないと思います。
子育て支援で活気のあるまちづくり。日頃からの訓練での地域と福祉関係の連携。空き家、耕作放棄地の整備・利用。
このような、アンケートを書いても牧之原市は全然今まで改善されていないので、経費（切手、人件費）の無駄。これは、市が仕事を増やすためなのか。もっと、すべき事は沢山ある。相中・相小・相高と津波のために動いてもらいたい。特に、相中は、川海とダブルで高い波が想定され、未来は全滅。それに、要素は大江だけない。同じ相良なのに、大江の子が、相中・相小・相高にいた場合、その子だけのめないのは、福祉の事をやる前に考えてほしい。もっと、御前崎市を見習ってほしい。御前崎市は、市民のために動いてくれている。牧之原はまったくダメ。（子育て、高齢者、税金）。
困ってはじめて利用することが多いと思うので、情報発信をしっかりとやって貰いたい。
ゴミ袋を無料にしてください。カラスが多い。「広報」がきこえない。
これからは今もそうですが、1～2人暮らしが多くなります。生活して行く上で、これ以上年金が下がらないようにして貰いたい。多くの若い人達が、楽しく暮らせる牧之原市にしてほしいものです。
今回、市長、市議員が決まりました。この方々が地域の代表として福祉活動を行っていくか目標を持ち、成果を公表していく事が最も大事な事だと思います。どの方も、年は必ずとっていくものです。皆さんで協力していきましょう。
昨年3月から公民館活動（ふれあい）しています。町内全員対象に、第三日曜日とし案内状をつくり回覧で内容をお知らせしています。参加者からどんなことをやったらいいとか、沢山の意見をききながら行っています。季節の者を提供していただき、ゲームの景品にしたり、惣菜を買ってもらったりしてやりくりしてきました。今年は町内会から25,000円の助成金を預かりましたので、昼食代は無料になりました。マーじゃんセット、トランプ、オセロ等のゲームとか知り合いからいただき、テーブル椅子等も集め、9:00～15:00自由に過ごして頂けるようにできる限りやってるつもりです。毎回20名前後で女性が多いです。男性は将棋を楽しんだり、昼食はとても喜んでくれます。毎週でもやってほしいという人もいます。若い人たちも初めの頃は来てカレーライスを親子で喜んでくれました。野菜を提供してくれる人、食器（茶碗、コーヒーカップ）、皆さんそれぞれ楽しいひとときを過ごしてくれています。地域の形態に合った活動を無理なくやっついていかないと、長続きしないと思います。時々グランドゴルフの人たちを参加してもら

## 自由記述

えるよう一緒にグランドゴルフやってみたりもしていますが、男性はなかなか参加しません。みんな病気や悩みをもっています。笑顔という薬（良薬）がある事をわかってほしいと思います。地道な活動が必要だと思います。地域の空農地をお借りして農作物、果樹を育て、栽培、農作業等やりながら助け合い、支え合い笑顔あふれる地域になればいいと思っています。待機児童対策にも公民館拠点に預かり、共働き世帯を支援したらどうかと思います。一人ひとりが今できることを惜しみなく、地域の役に貢献して下さることを願います。

市職員の地域でのリーダーシップと住民の理解協力。飼い犬の放し飼いによる子ども等への危険性。一般的な常識のない人間もいるので、こういったアンケートも難しい。回答に対して。

市内で買い物ができる環境づくり。救急病院が近くにあると便利。たらいまわしにされないため。大きな図書館があれば良いと思う。進歩してない、町が活性化していない。高齢者に対してのタクシー券のサービス。

市内でも自治会によって、福祉・防災等の取り組み考え方や訓練への力の入れ方がまちまちで、温度差を感じる。真面目に取り組む姿勢が必要。また、東北地震等風化してしまう傾向にあるように危惧している。もう一度各地区での取り組みを考えてほしい。例として、訓練で点呼のみで解散はないでしょう、って感じます。徐々に参加者が減ってきてしまう。津波がないから安心、はないでしょうと思う。福祉から高齢化に向けて自治会でも健康増進、体力づくりとしての取り組みに力を入れてほしい。予算もつけてほしいと思う。年金を医療費に使わなくていいようにしたい。活動し易いように。

市内の色々なところで積極的な取り組みがスムーズに行われることを要望します。

自分の家の前の道が舗装がかけて凸凹道です。10年以上前から直してほしいと申請を出していますが、未だ直っていません。年を取って足取りもおぼつかなくなり、へこんだ所等に引っかかって転ぶおそれがあり、心配です。きれいな道で心配なく歩いて、体に障害のないようにするのも福祉の一つではないでしょうか。

自分も仕事をしていて精一杯なので、母親（86歳）が普段買い物や病院に行くときのあしがないので困る。勝間田とか地域のバスはあるみたいだが静波（6丁目、4丁目）とかないので、200円ほどで乗れるような小さいバスを走らせてほしい。

市民が毎日でもでかけなくなるような大型施設を牧之原につくる。大型施設の中に福祉に関する市の施設などをつくる。大型施設の屋上などは避難場所になったり、災害の時に役に立つ。

市や行政の専門職以外の方では、福祉に対応できる内容は大まかで限られている。やはり地区の組や班の集団で日頃より声掛け等をして結束力を高めていくのが一番だと考える。そのため、近所の人が集いやすい公園や公民館を町内の資金だけでなく、市の補助金を出して整備して欲しい。牧之原には近隣の菊川や島田のような整備された公園がなく、安心して人が集える場所がない。

住民一人ひとりが互助の気持ちを持つこと。行政に頼るのではなく、自分でも責任をもつこと。

障害者、高齢者、車のない方など、気軽に乗れるコミュニティーバスが必要になってきます。予約ができたり、決められた曜日に運行されたら大変うれしいと思います。

正直、近所の人から家に来るのは町内の集金の時だけ。もっと深い付き合いもしたいと思うが、自分の仕事が朝8時～夜9時過ぎまで。休みも月に4～5日なので、時間も取れない。そのせいか、近所の人にあまり良いイメージが無い。自分は要介護度5の祖母を2年間自宅で介護した経験があるが、車から家への移動時等は本当に大変だった。近所の人に助けてほしいと思った事もあるが、頼めなかった。介護サービス・支援体制も非常にわかりづらい。自分で調べて初めて「こんなサービスがあるのか」「こんな給付金があ

### 自由記述

るのか」と驚く事も多かった。「頭の悪い人」「調べない人」には何の支援も無い世の中と思う。高校や大学で社会福祉制度、サービスについての教育も必要なのかとも思うが、実際に自分が使う場面にならないと覚えられないと思う。さらに思うのが市役所の人々の冷たさ。サービス業ではないとはいえ、対応が冷たすぎる人が多い。何様だと思っているのかと、怒りがわいてくる事もあった。困って助けて欲しくて、市役所に来ているのだから利用者の心情をもう少し慮った対応をお願いします。

少子高齢化が進み、福祉施設等サービスの需要が高まっていると思うが、どういったサービスが受けられるのか、施設はどこにあり、どんな方が利用できるのかなどの情報があまり認知されていないのではないかと思います。高齢者や高齢者をもつ家族が安心して生活していく上で情報を提供していく事が重要なのではないのでしょうか。子どもに対しては人数が減ったことで、遊び場や子ども同士の交流が減少していると思います。子ども・親が安心して、楽しめるイベントや行事を増やしていく事も良いのではないかと思います。

少子高齢化となった今、どちらに重きを置くのか行政の立ち位置不明。少子高齢者を守るのは働ける世代。この世代の子育て・介護を安心していける守り人のフォロー体制の確立必要。

情報公開してください、のみ。

生活保護を受給している人で、守られ方が手厚くて働く意欲がまったくなくしているために、もう少ししっかりと役場の人達が調査をして、適切な対応を行って貰いたい。本当に困っている人達を守るための保護だと思っています。

第一には、居住地における日頃からの良好な人間関係づくりに尽きると思います。そのためには気軽に声をかけあい、困ったときには自然に手を差し伸べられる事が大切です。一方、行政にお願いしたいのは、居住地の活動を援助するための情報発信や場の提供、費用に支援等です。

他人の家にはあまり踏み込めない。

誰もが行ってみたいくなるようなイベントを、年間行事として位置づける。場所は静波グランドや学校等の施設がいいと思う。イベントの内容は地区で採れる新鮮な野菜、果物、魚などの販売、歌謡ショー、ゲーム等々。重要な事は場に集い、そこで自然発生的に生まれる交流を深め、最終的に地域住民が助け合い支え合う方向に進んでいくようにする。

誰もが長生きしたい訳ではない。

地域活動について無理強要をしないでほしい。ストレスになっています。認知症予防の活動をもっと増やしてほしい。要支援の高齢者も送迎をしていかないと参加することができないので、考慮していただきたい。

地域で孤立しない生活がしたいと思います。年を重ねてからも集まったり、移動ができたり（車が無くても）する事が身近な地域で安心してできると嬉しい。若い人、子ども、高齢者が自然に交流する場所があちこちのできるといいと感じている。

地域の茶畑など、農地の放置が大変増えています。農道など、荒地が増えていて困ります。

地域の道路等にゴミなどが捨ててある。ゴミ処理ができていない。また、高齢者等交通方法が自家用車以外ではない。バスの本数がない。タクシーも少ない。今のままだとどこにも行けない。市役所等が一つになると不便。

地域の催物など。

地域福祉が大切なことはなんとなくわかりますが、仕事が忙しかったり、子育てに集中していると、高齢者福祉などが特に身近でなくなってしまいます。宮崎映画、崖の上のポニョに出てくるような高齢者と子

## 自由記述

育てが一体になった施設は、これから地域が一体となった福祉を考えていく上でヒントになる気がしています。幼児から高齢者が一体になることで、それらが互いに身近になると思います。

地域福祉とは直接関連しないとは思いますが、牧之原市の図書館（榛原・相良）は、例えば吉田の図書館に比較すれば大きな差があり、吉田の図書館の整備や取り換え等実施願えば幸いと思います。

地域福祉は高齢化が進むにつれてさらに必要度が増してくると思うが、共に助け合い支え合うことが大切な一方で、「近所の人とは関わりを持ちたくない」「自分がサービスを受けていることは知られたくない」というわけではなく、まずは行政の方から「こうしてみたらどうか」などのたたき台も必要ではないかと思う。それを行ったうえで地域住民におろしていくことも大切ではないか。

出しゃばりすぎず、引っ込みすぎず、プライバシーを守る。災害・事故・病気など必ず突発的に発生するものだから、その時、本当に役に立てばそれが一番良いと思う。誰も何がいつどのように発生するかわからない。だからどうしたらよいかなどわからない。できる人ができるようにすれば、それで良い。私はそう願っております。助けても恩にきせない。当たり前でありたいし、助けられてもまた胸張って生きていけるようにありたいね。

テレビやスマホにとらわれなく、もっと地域性を出し、コミュニケーションと場をつくる。例：役員が大変といわれるが、もっとつながり、声かけできる場を提供する。行事を大切にしてもらいたい。まずは、年に2回ぐらいお茶を飲み話しあいできる場を考えていきます。

問 29 の答えに関して東日本大震災の後、色々な事を夫婦でシミュレーションしました。問 29-1 に関して同ようです。牧之原に来て 17 年、外から入って来た者の目、または感じられる事を書かせていただきました。福祉を受ける方も与える方も、何か一歩ずれているように感じます。本当に困って一時、生活援助を受けなければならない人は冷たく扱い、ゆとりがあるのに受けなければ損だと上手く立ち回り利用している人、目に余るルール違反を福祉、行政の中で止めて下さい。買い物をしている店の中、ここ 5 年で年寄りの方が多くなりました。福祉の方は益々大変だと思います。甘えるのではなく、できるだけ自分の事を自分でする工夫をする。

道路ばかりつくってないで、公共交通機関を充実させた方が良いと思う。公共交通機関がもう少し充実すれば、高齢者の行動範囲も広がると思います。

年寄りや障害者などへ、バスやタクシーの足代わりになるようなものを増やしてほしい。

独居老人に対する市の対応。一生安心して暮らすためには本当に大変だと思う。働けなくなり、年金だけで暮らす高齢者への支援。高齢者のみならず子育て援助。

隣近所であってもプライバシーや個人主義の年寄りで助け合う関係性が薄れてきている。今後もこうした傾向は進んでいくものと考えられることから、個人の善意や良心に頼った「地域福祉」の隔離は困難である。よって行政が主体となって地域福祉に関わる企業事業所、自治会、市民一人ひとりの役割や機能を引き出し、マネジメントすることによって、最適かつ効果的で将来にわたって持続可能な「地域福祉社会」の仕組みを構築することが強く求められていると思います。

どんな人も年をとって行く事を忘れないでほしい。

何事においても個人情報の開示を許されませんが、今のように隣同士のお付き合いが薄れた時、いざという時にどのお宅にどのような方がおられるかわかりません。最低の所で町（組）内に 1 人位のリーダーさんにしてもらっていただきたいです。

年金生活者ですが、短時間パートで働いているために時間的な余裕がありません。パートを退職したら、またじっくり考えてみたいと思います。まずは一番近くの隣近所の方々との日々のコミュニケーションを



自由記述
大切にしたいと考えています。
野良猫、イノシシ、犬の糞の始末をして安心綺麗な市づくり。
榛原病院がもっと利用活用できたら、良いなと思っています。何かもったいなくて残念です。
榛原病院を以前のように充実させてもらいたい。いつでも行ける病院に。
日頃から近所の方などとコミュニケーションをとっておいたり、関りを持っておく必要があると思います。
日頃の近所の方達との交流が必要かと思いますが、中には好まない方もいますので、その点が心配です。
人としての道徳を小さい頃からしっかり教える事。人がなぜ一人では生きていけないのか、ならば他者に対して思いやりを持たなければならないという事等、他者、例えば友人、家族を喜ばす事を自分の幸せにしていくことが人にはできると、自分はそう思っている。大切なのは、思いやりは他者のためだけではなく、自分に帰って来ると言う事。他者への良い事は自分の幸せに繋がる事、そして誰かが喜んでいるのを見て良かったな、と思える綺麗な心を持てる子どもを育ててほしい。笑顔はそういう事から生まれる。
避難タワーが家の近くにほしい。満員で登れないのではと不安。何人乗れるか等の情報もほしい。
日々の生活に追われ、なかなか参加できないのが現実。一人ひとりが役割分担を確認していけば、急なことにも対応ができるかも。税金を大切に使用してください。
病院が近くに無いために、交通手段がほしい。免許を返納したり、車に乗れない人は困っています。
福祉教育を学校（教育）現場だけに頼るのではなく、行政・地域・教育が一体となって取り組む事。特に、高校生に対する積極的な働きかけが必要だと思う。また福祉従事者（職員）の給料に対する補助も、市独自として行うといいと思う。職の重要度や負担に対する対価が支払われているか、携る方の善意のみに支えられている福祉では先細りになってしまうと思う。
福祉サービスの情報提供。障がい者が困った事に直面し、問い合わせや相談があつて初めてそれに応じるのではなく、必要な人に必要な福祉サービスの情報を事前に（困る前に）提供してほしい。要約筆記者派遣制度の事は、市内在住のすべての聴覚障がい者に周知されているのでしょうか。
福祉って何。治る病気の人なら病院行けばいい事。榛原病院と御前崎総合病院、菊川総合病院が閉鎖しているみたいですけど。牧之原警察を信用できない。
福祉の定義が広すぎて、良くわからない。
ふだんから集まったりする事。
プライバシーの問題もあり、どの程度の助けが必要かが判りにくい。町内会等に要支援者の本人の承諾をえて、情報を伝えておく。
歩道を整備して、車いす等障がいのある人たち高齢者が楽に使用できるように町中はいいが、少し町外になると難しい（一人歩きだと）。
ボランティアと言っても種類が多すぎるので、例えば町内の高齢者が元気に生活できる活動内容とか、実態の活動に対して意見が聞かれるコーナーがあれば○印でわかりやすかったです。要望等ありますが、自分が進んでやっている事なので答えは出ませんが、喜んでできるボランティアの地域福祉の大切さをしてもらってほしい。
本当にその人に必要なのかも考えてほしいですね。従事している皆さまのご健勝と御活躍を期待しています。
牧之原市として活動していきたい。現在、小規模な人たちの集まりで訓練や練習などを行っているが、各団体、地域で内容ややる気などに差があるように思う。本当に災害や苦境に立たされたときに、役に立つ

自由記述
<p>ような内容で活動をしたい。そのためにも、他の地域の方たちや大規模な訓練を行い、もっと現実に起こり得る状況で対策もたてたい。</p>
<p>牧之原市の人口減少を止めるために、子どもや若い人達に魅力的なまちづくりをめざす。例えば、雇用を増やしたり、教育負担を減らすなど。公共施設、道路のバリアフリー。</p>
<p>まず、観光・商業に力を入れてほしい。市がいきいきしてくれば市民にも余裕が生まれ、地域福祉にも目も行くし、お金もかけられると思います。</p>
<p>まずは、目に見える所から整備していくことが大切だと思います。年寄、子ども、障がいのある方でもすぐに避難路がどこかわかるような、見やすく目立つ看板（矢印やあと〇〇m など）。スロープや点字ブロックの整備。音つきの信号。障がい者用トイレ。補助金制度のわかりやすい説明。相談窓口。タクシーやバス等、市で運営するようなもの。交通手段がこの市は、無さ過ぎる、運転免許がないとかなり不便なので、気軽に安くて使いやすい自主運行バスや介護タクシー、買い物代行などのサービスがあると良いかと。</p>
<p>まず、一人ひとりが健康で生活する事が大切だと思います。日頃から地域、隣近所と良い関係をつくり、お互いに助け合える環境づくりも基本だと思います。その上で困ったら行政に相談、ご指導をお願いできる仕組みをわかりやすくしていただけたらと思います。</p>
<p>まちの美化運動につとめ、各地域の町内会ごとに特徴を持ち、共に助け合いを行い復興をめざす。</p>
<p>みんなの顔が見えるように。無駄な事でもやる。継続する事。</p>
<p>昔みたいに隣近所の声掛け、助け合いが薄れてしまったこの頃（地域によっては違いがあるでしょうが）、災害時だけでなく常に地域行事等に参加し、人とのふれあいを心がけて生活することが大切なのではと思う。このような場所で得たことが、地域福祉へとつながっていく事と思います。</p>
<p>免許証返還後の買い物、病院通い等、家の人も忙しいので心配です。高齢者は皆さん同じだと思うので、家の人に負担を掛けないように生活できたら助かります。</p>
<p>幼児や障害者に親切な牧之原市だと思います。</p>
<p>予算を増やす。</p>
<p>老々介護の支援についても具体的に検討していただきたい。</p>
<p>路線バスを小型マイクロバスにして本数を増やし、高齢者、障がい者は100円にする。そうすれば利用する人が増えると思います。</p>
<p>若いころは地域の活動や自治会活動を通じて、区民の融和に努めてきた。年に一度、公民館まつりで手打ちそばをつくって区民に有志の人たちと10年位ふるまってきたが、その活動が自分が高齢になってきて活動が続けていけそうにない。若い人に仲間になってほしい。</p>
<p>若い世代が地域住民と関わらなくなっています。私は実家の近所の方とはよく関わりますが、新しい地では全然です。結婚して越してきたなど、そういった若い人達を地域に根付かせる事が必要なのではと思います。</p>
<p>若い世代の住民が減ってしまわないよう、新しい企業の誘致や現在ある企業の活性化を願っています。現在の市役所の相良庁舎がなくなってしまうことのないよう、切に願っております。</p>
<p>枠組みだけつくってもダメ。本当に何が必要とされているのか見極めてほしい。</p>

## 自由記述

私の町内会での民生委員の方は、近隣の大人（成人男性）が母親（70代位）と怒鳴り合いの喧嘩が日常ですが、声掛けを見た事ありません。「活動」というより、普段のせめて日常生活の周囲の迷惑に対して小さな事から積み重ねてほしいです。役に立ってません。私は他市（東部）から転入しましたが、住みにくいと感じることが多いです。仕事も静岡市内に通っています。公園の少なさにも驚きます。小さな子どもさんが遊ぶところも少ないです。改善するところは多いです。市長さんが変わって、タイミングも良いと思います。新しい「考え」、市政までも「風」があると、私どものような子育て世代も残ります。子どもたちは、町内でも他県・市の大学へ進学してしまうお宅も多いです。このままいくと高齢者を支えられない市町になりそうだなあと考えています。人が集まるような、商業施設の誘致、イベントなども考えるべきです。現状維持で満足している住民の方も多いです。

私は知的障がい者への支援を行っている者です。彼らへの理解、健全者と共に活動できる行事等の充実をお願いしたい。

火災が発生しているのに、あいかわらずゴミや草木を焼き、迷惑をしております。アレルギーのある人は、大変迷惑でつらい思いをしています。地域福祉を市として取り組むことを考えておられるようでしたら、このようなことも考えていただき、安心して地域のみなさんと暮らせるようにしていただきたいです。

街のシステムの中心を、高台に徐々に移転すべきだと思う。避難所になる場所や、復興の拠点となる場所が災害（津波など）で使えなくなっていたら困ると思うので。

義母を4年前に送りましたが、市の福祉のお世話をいただき、大変ありがたかったです。感謝しております。近所づき合いにつきましても、今までであった寄り合い等も無くなり、プライバシーを守る傾向にあるため、声を掛けにくくなっているのが現状です。

健康でないので少し〇を書きづらい。調子が悪いので、アンケートの答えになってないかも。

現在、老人会、花の会、いきいきサロン、茶の実クラブ（踊り）、小中生徒のみまもり隊をしていますが、運転できないので地域だけの活動をしています。これが私の今の生きがいです。介護を受けなくて生活できればいいのですが、先がわからないので不安です。

御前崎市のような、ケーブルTVの導入。

行政の力を借りて、地域住民が支え合えることができる”まちづくり”を推進してほしい。牧之原の住民が増えるよう、静岡県の人口が増えるよう住みやすく福祉が整っていること。色々な面で、誰もが住みやすい環境であることを念頭に考えてほしいと思います。

今後増加が予想されるひとり暮らしの老人世帯に対しての支援や、対処方法を具体的に検討してほしい。空き家対策等。

細江区にはお祭りがあるので、他の市から来た外の間でも気軽に地域行事にふれることができます。また、クリスマス時のお菓子配りも、子ども会に入っていない家庭にもよってくださり、感謝しています。

「地域」にふれる機会があるだけで、ネットワークのない外の方にはありがたく感じます。逆に、防災訓練などの参加の仕方がわからず、興味はあっても参加しないまま6年経ってしまいました。どこへ避難すれば良いのかわからず、自分で調べた(考えた)ことをもとに、避難ルートも決めています。

子どもからお年寄りまで利用できる施設（公園）をつくってほしい。街灯が少なく、夜、真っ暗なので街灯を増やしてほしい。

## 自由記述

子どもも保護者も保育者も安心して生活ができるように保育士の数を増やし、手当などをつけてほしい。また、子どもが使用する施設（特に公園など）をもっと整備して行ってほしい。また家族全員で遊べるようにしてほしい。ペットも家族の一員なので「ドッグラン」をつくるなどして行ってほしい。福祉を大切にしていかならず、病院をしっかりとすべきではないか。産婦人科がなく、出産ができないような市には住みたくない。また、しっかりとした小児科もつくりべきなのではないか。若い家族には、アパート代なども高くて済む気になれない。また、高齢者の方のグランドゴルフで、子どもたちが公園で遊べなくなってしまっている。市の職員がもっと親身になり、色々なところに繰り出して色々な人の意見を直接聞き、流してしまわないで現場からの意見を大切にしてほしい。

子どもを産む場所がなく、ここらだと焼津まで行かなければいけないので、榛原病院の参加をどうかしてほしい。

施設等の充実もさることながら、福祉に関わる人々の人間性の充実も深めてほしい。

施設入所費用負担の改善。

私は転勤で牧之原へ転入して参りましたが、とても住みにくさを感じております。第一に病院不足（医者）、榛原病院がせつかくあるのに行きたいと思えるような病院ではない事。沢山の高齢者が、あの汚い待合室で長時間待たされ、イライラしている姿はどうにかしなくてはならないし、福祉サービスを受けるにあたっての書類等の作成も、遅く、おそまつな物だった（実体験）。個人病院も口コミが悪く、市外の病院に行かざるを得ない状況です。明るく、親切な住みよいまちになる事を切望します。

自立した生活の支援を望む。移動（買い物、ゴミ出し、通院など）が安心な道路（歩道）の整備、街路樹を撤去して歩道を広くする。ゴミの収集場所を町内会、班（組）単位だけでなく、公共用地を活用し区の管理で増設を望む。シルバー人材など活用し、生活支援部門の強化と有償でのサービスも同時に進める。

小学校単位など、より身近な範囲で高齢者だけに偏らない地域の福祉を進めていく組織があるとよい。い〜らにある社協の地域版のようなものがあつたらよいのでは。

人とのつながりが薄れる中、障害や高齢の方が自立して生活するシーンをTVで良く見ます。共に助け合えるが一番ですが、きれいな事に聞こえます。公共のバスを走らせたり、デマンドタクシーでスーパーや病院へ自分で行き、時にデイサービスでお世話になり、時に地域の人と交流をする。ごく普通に生活ができるための支援が必要だと思います。

人口減少対策、空家対策、高齢化持家対策。

台地の上で老夫婦二人住まいです。今は車の運転ができますが、足がなくなったら、開業医がいないため通院がすぐ困ります。バスで相良迄出て、また榛原病院迄乗りかえるのは、時間的にも経済的にも大変な事です。買い物はCO-OPを利用すれば何とかかな、と言う感じですが、週1または週2でも、誰でも使える交通手段をほしいと思います。

地域ではサロンなど寄り合う場所があり、会話や見守り、助け合うことが大切だと思います。高齢になった時、相談場所があり、その人にあった色々な選択ができればと思います。

地域や隣組の絆が大切だと思います。普段からの付き合いやお祭りなどのイベントへの参加で、つながりを深めていけたらいいと思います。

地域交流の場を深める。簡単そうに思われるけれど、とても大変な事だと思います。交流の場に出て来ない人がとても多いから。各区→組→班、それぞれの立場でリーダーになってくれる人がいるとずいぶん違うかなと思います。本題の主旨とは少し違うかと思いますが、これから少子化対策についても皆で考えて行かないと、本当に大変なことになると心配です。

### 自由記述

転入し賃貸アパート暮らしですが、地域の回覧がまわって来ないため、福祉サービスも含め、なかなか情報が入って来ません。転入者ということもあり、牧之原市の情報に乏しいです。自ら情報取得に行くべきですが、核家族であること、2歳の子どもがいることもあり、なかなか行けずにいます。

日頃から住民どうしのつながりを深くする必要があると思う。どこに住んでいるどの人がどのようなことで困っているか、周囲の人がわからなければ、どのような手助けができるかもわからない。住民同士のつながりを深くし、情報共有をするためには、気軽に参加できる・参加したいと思えるイベントやコミュニティ施設などが必要だと思う。

認知症の母をもつ私にとって今一番教えていただきたいことは、認知症と家族の向き合い方、どう接していったら良いのか。そういった、勉強会などを開催してほしいと思います。

牧之原市は、このようなアンケートをとって市政に生かそうとしてくださっているの、大変うれしいです。これからもよろしくお願いします。

牧之原市は交通の便が悪いので、お年寄りが病院に通ったり、買い物に行くのも大変だと思います。高校に通うにしても近くの学校は少なく、市外へ通っても交通手段がないので、子どものいる家庭は不便を感じていると思います。

面倒くさくなりがちな考えは、自分もそうですが、福祉活動に関心を持つ事が大事だと思います。しかし、この世の中、北朝鮮問題など先がどうなるか。それを考えると、家族が居るので思えるのですが、沢山会話して常に笑える毎日を送りたいです。

## 2 活動者その他回答・自由回答

# (1)その他回答

## 問5-1 その他、今後の活動についての方向性等についてお聞かせください。

自由記述
自分自身が健康で正常に動ける間は、自身の成長や生きがいと共に、少しでも地域の役に立てるよう活動を継続する。
「地域は地域で」は限界がある。少々の介護保険料は上っても、支援強化をお願いしたい。
相手の人との会話を大切に、活動に取り組んでいきたい。
育児をしている者の声を市政にまとめて届け、自助できる共助できる分はやっていく。メンバーの政治に対する関心を高める。地域全体で育児力を向上する。真の仲間をつくっていく。
今の子ども達に社会のためになる事を、自主的に思うようにする。
いろいろな状況や個々の問題に対応できるよう、研修等行っていきたい。
お父さん、お母さんの気持ちに寄り添って、思いやりのある子、がんばれる子、誰とも仲良くなれる子を目指し、不登校の子どもも無くしたいと思う。
会員の交流を深めるため、手芸教室や料理教室等行い、それがまたボランティアにつながっていけばと思っている。会員の体力づくりにも取り組みたい。
活動の現状維持。
車いすに乗ってこれるようなサロン活動を進めたい。男性の方にも興味の湧くような活動ができればと思う。
現在週1回の集まりを2回位に増して、男性も加入できるようにしたい。高齢者の居場所づくり。
現在も少しずつ実行していますが、1期生になるべく宿題、経験を多くするようしむけ、活動をもっと全体が動くように働きかけをする。
現在やっているサービス、活動を充実させていく。放課後、児童クラブ等への協力体制。
現状維持。
現状支援不足とか、支援・協力の活動がどんなかわからないし、個人情報とかで対象者などもわからないので。勉強不足で申し訳ありません。
後継者を増やしていきたい。
講習会や研修などで得た情報を活かし、地域の人を見守りを続けていきたいと思います。
高齢化が進んでいるので、若い方々を仲間として、一緒に活動をしていきたい。他の市町との比較も大切であるが、地域性を大切にしながらの活動をしていきたい。
高齢者世帯、独居世帯の家族が遠方ゆえに協力する者との連携、理解を求めつつ、向こう三軒両隣の関係性が構築できればと、現場での難しさを感じながら努力前進です。
高齢者調査をもとに、必要と思える方の訪問頻度を上げ、関係づくりをする。
高齢者の方達で体調を崩しやすいため、やめていく方がある。そのため継続していくための手段を、考えていきたいと思う。
これ以上活動範囲を広げたくない。専門的な事から日常生活の事まで雑多な物事が多すぎる。
様々な活動や取り組みを経験し、「自立」できるような支援を心掛けていきたい。
サロン活動を充実させ、参加者の増加に努める。

自由記述
自身の放棄竹林、人工林整備を進め、その場を開放し、様々な用途で使用してもらえるフィールドづくりを更に進めたい。森林、里山整備をすると、川や海も整備することにつながるし、土砂災害を防ぐことも知ってもらえるよう情報発信をしていきたい。子どもからお年寄りまで、障がいのある方でも楽しくできる自然活動の場、イベントを企画し自然への関心、地域への問題点を感じてもらい、自分達で取り組んでいく意識につなげていきたい。
自分にできる支援を積極的にやっていきたいと思います。
自分の年齢（相手方）にも無理のない計画をして、長く続くものにしたい。
地域の方々が困った事があった時に何でも相談してもらい、行政に繋げて行けるように交流を深め、心を通わせていきたいと思っています。
新規メンバーを増やし、毎週定例会が開けるようにしたい。聴覚障害者が安心して来たいと思うようなサークルにしたい。
身体に不自由さを感じている方など、家庭に引き込まないように場所や催しを開く。
少しでも役に立てばと、奉仕の気持ちで継続したいと思います。
誰もが平等なサービスを受けられるように、アンテナを高くして現状の把握に努め、より良い結果を出したい。
地域として見守りや支援活動を行い、助け合っていく事が一番必要になると思う。
地域の子ども、保護者が安心して預けられるような保育の向上を目指していきたい。
地域の人々の見守りについて十分気を配り、行政や福祉関係機関へのつなぎ役ができればと思います。
町内会の組織から外れた世帯を把握し、支援の手を差し伸べていく必要がある。色々な場を提供しても交通の便が悪いので、なかなか参加できない人が多い。参加を促すには送迎を考えていく事が必要である。
地理的に高齢者や障がいの者の通院、買い物が困難。交通弱者に対する対策が必要と思われます。例えば、スーパーマーケットなどに補助金を出し、宅配サービスをお願いする。どこでもカーのボランティアを有償にして、ボランティアを増やし、キャンセルが無いようにする。
使命感を持って、できる事をやるだけです。
できるだけ対象となる家庭に顔を出して「何もない」と言う事の確認をして「おかしい」時は上部と確認するなどの対応をして、対象者が泣いていない事を見守りたい。
認知症を患った人は、近所の方に知らせる事が方法の一つだと思います。近所の方の協力。
働き始める親が増えていくと思うので、土日の活動になっていくと思うが、なるべく集まって続けていきたい。
花の会会員は、花や緑を楽しむリーダー的役割。花壇の植栽や世話は地域のコミュニケーション活動として広がっていくことが理想。
保育園と子育て課との連携を深めていく。
保育士、保育教諭の質向上に向けて、市内での研修を深めていきたい。
保育士の資質向上が必要とされているので、研修の充実が必要と思う。
他団体や組織と連携し、支援や活動に協力していきたい。
ボランティアが気軽に行なえるように、どういう会があるのか知りたい。シルバー人材の方もボラというひとがいますが、そういう形なら楽しみながら少々収入も入り、やりがい（有料も）あると思う。
ボランティアのメンバーを増やすこと。運転ボランティアは組織で動いているので、メンバーの減少が進



自由記述
むと活動できなくなるおそれがある。
ボランティア組織に所属はしているが積極的に活動はしていないので、今後はできるだけ協力して行けたらと思います。
毎年問題が増していく方向にあるので、問題と向き合いながら社協、包括他連携を取りながら進めていきたい。
まずは、誰のためかを明確にして、何のために行うかを考えたい。その際、支援者、活動者のエゴではなく、対象とする人も巻き込みながら行う必要がある。
自ら地域活動等（祭り、行事、イベント）に参加して、地域住民の話や意見を聞いて、区、市、社協への協力を求める。
民児協、学校、専門機関との信頼により繋がっていくものだと思う。どうつくっていくべきか。
民生委員、児童委員、片浜公民館運営委員、海山荘推進委員、また、ふれあいサロンへの協力、町づくりイベントへの協力を私の仕事として活動したいと思います。
民生委員1年目なので、とりあえずこのまま活動継続していきたい。そのうち欲が出るかも。
民生委員として必要な知識の研修を、新任委員と共に深めていきたい。また、民生委員として地域の活動を重点に置き、お互いの悩みを共有できる組織づくりを考えていきたいです。
民生委員として我々のやるべき事は、やはり担当エリア内の高齢者を主体とした見守りをさらにきめ細かくやる事だと思う。
民生委員の活動範囲が、あまりにも広すぎると思います。学校関係はそれ、ボランティア関係等々の組織がありますよね。任せたらいいと思います。
もう少し勉強をして知識をつけ、現在の取り組みを進めたい。
利用者さんの思いを大切にしながら、年齢、体調、体力にあった作業を提供し、自立した生活を目指す。
私は他の地域からの移住者で、地元溶け込むために無理して団体の役を受けて来た。今後は無理せず、関わりたいと思う。
個人の考え・生き方の確立が必要。現状の確認。今どんな状態・状況を知ることが必要で、自分自身の動ける、理解できる容量を知り、無理はしないという気持ちをもって。
行政の福祉専門職としての役割を考えて、活動に取り組みたい。
高齢者、障害者の枠を超えての支援の必要性。活動や仲間づくりをするにあたり、活動したくてもできない方、例えば、車に乗れないけどやってみたいが研修の開催場所や仲間づくりのための足の確保ができるように支援してくれたら、参加者も増えたりするのでは。
高齢者。認知症の方と介護する家族への支援を充実させたい。
事業所にケアマネの依頼があった時など、問題があるようなお宅なら行政、包括へ連絡をする。
住みなれた土地でその人らしい生活を支援できるように、地域、行政で協力する。
住民主体としながらも行政、社協のバックアップがあるとすすめやすいと思います。
障がい者の受け入れ。
正しいと考える方向性に向けて努力する。
知識不足のため回答にしっかりと答えられないので、自分なりのペースで福祉、その他の活動における支援等を学んでみようと思います。
地域の福祉活動として、身近な日常生活の中で互助により支援可能な事を地域で共有化し、支援の日常化。

自由記述
年齢に関係なく、仲間の交流がもっと広がり、地域のつながりができて良い関係ができていくと思う。
牧之原市災害ボラ VC は、近隣の島田、藤枝、焼津、静岡、川根本町、吉田の 7 市町が連携して、年 2 回、各々の課題と啓発活動について意見交換を実施し、レベルアップを目指す。

**問9-1 その他、他の組織・団体と連携して活動する場合の具体的なイメージがあれば、お聞かせください。**

自由意見
[防災組織] 防災避難訓練等に参加していただき、施設の現状を知っていただく。改善点問題点等アドバイスをしていただく機会がほしい。
[医療機関] なかなか健康管理への意識が低く、自己管理ができていく状況なので、医師や看護師の方から具体的にアドバイスをいただける機会がほしい。
[その他] 下請作業、出向、できれば就労の可能性も含め、情報をうかがう機会があればと思う。
赤ちゃん、子ども達（小中学生）等の組織すべてと連携していきたいと思います。
あまり会議等増やさないで、必要に応じ協力し合っていきたいと思います。
いきいきサロンの協力員として活動していますが、協力員も少なく大変です。今後シニアクラブの役員と話し合い、協力して活動していけたら良いと思いますが、具体的なイメージは今の所考えてはいません。
いつも困難事例等、支援について相談をしています。ケアマネ一人では、支援について迷う事もあり、相談をする事によって、相談者の方に寄り添う事もできます。
イベント等の開催にあたり、他の組織や団体と協力し準備や運営に参加する。
医療機関との勉強会、特に認知症について。アルコール依存症、ギャンブル依存症対策。
いろいろな場所、小単位で。例えば自治会の行事の中に組み込む等して、誰でも参加できる場をもつたら。高齢者と子どもの支援を一緒に行なえるもの。
インフォーマルなサービスや提供団体等があれば、うまくケアマネジメントして、当事者と結びつけていきたい。地域性を生かし、地域の中で暮らしやすくなるようサポートしていきたい。
課題として、現在年 3 回行っている自立支援 NW 部会の中の榛原 HP 内で行っている医療と福祉連携チーム会議の「防災の取組み遅延抽出」という情報共有の場として、吉田町福祉課の方のご出席はあるのですか。一緒に取り組む体制までにはなってません。榛南地域で防災をどう取り組むか、市町が共同して検討、取り組める場があると良いと思うのですが。
学校での苗づくりや花育のサポートには時々参加しているが、近所の子ども会（親子で）長期休み中など花壇の手入れや、花を育てる勉強会等一緒に行きたい。ボランティア室にボランティアに興味を持つ学生等集える場になればと思うが、コーディネーターのような人が常にいる必要がある。
活動内容、利用するにあたっての具体例を知りたい。
活動内容にもよるが、行政当局はどのような活動を、どんな組織、団体が連携して行っているかについて把握してほしいと思います。その都度必要な組織、団体が連携し合う、緩やかな形のものが良いと思います。
気になる子への支援方法など、アドバイスや相談にのってもらいたいです。

<p>現在いきいきサロンを1回/月実施。(民生委員が運営)「高齢者が集まって世間話やレクレーション等をして楽しみ、認知予防にも繋がれば。」という事まで望むなり、MIN1回/週はやれたらと思う時がある。しかし、民生委員だけでしっかりしたイベントまでという限界があり、難しい。区と連携して月4回で内3回に一例として(場所の提供のみ or ビデオ鑑賞のみ等)で運営者が1~2人ではじめと終わりのみの手間のみと言ったやり方なら、皆で交代してやれば続くのではないかと考えたりする。あるたすを活用しても良いかもしれない。</p>
<p>公立こども園が市内に1つだけなので、他市町のこども園との情報交換等をしていきたい。</p>
<p>高齢者の福祉施設も知らなかったり、解らないことも多いので、研修の時に見学させてもらい、見聞を広めていきたいと思います。</p>
<p>子ども達に地域の良さを知ってもらうために、夏休み宿題を終わらせよう会とか、流しそうめんをやる会とかいろいろをやっているが、子ども会の親御さんも一緒にやって地域を盛り上げたい。</p>
<p>困った事の助け合い。</p>
<p>自治会(区会)を始め、地域の住民と連携を取り協働で様々な課題を見逃さず、適切な対応を行い行政、各団体等へのパイプ役、協働の元地域の福祉活動。</p>
<p>障がい児の支援に関して、児童ディや居守サービスを受けている方が牧之原市内でも多くおります。利用事業所も多くそれぞれの事業所の方針もあろうかと思いますが、一人の児童に対して複数の介護者が関わっているので、情報交換する場、合同研修する場を広げられたらと思う。現在も行なっている事ですが、事業のためではなく障がい者が地域で生活しやすい場づくりという大きなワクで取り組みを進めてほしい。</p>
<p>障害者のスポーツ振興。オリンピック、パラリンピックを楽しく見るなど、競技を含めた体験及び振興。県スポーツ推進審議会の方針に基づき対応できないかな。</p>
<p>小学校との情報交換をもっとできれば。卒園後について、気になっていた子がどのような状況なのかもっと知りたいし、それが現在園児への接し方のアドバイスになりそうに思う。</p>
<p>情報を流してほしい。お互いに協力して活動していきたい。</p>
<p>地区社協を立ち上げていく事が、一番ではないかと考えます。そこから地区に対して発信していく事により、活動がスムーズに行えるのではないと思う。</p>
<p>聴覚障害者を招いての手話授業。</p>
<p>二年に一度は変わられると思われます。自治会の長の理解度を求めつつ、それが無くして連携は難しいです。15年余りの歳月にてようやくわかってきたと理解。現場は本当に戦いですので、まずは自らが己に置き換えていただく事が第一と考えます。</p>
<p>必要な時に連携できる体制づくり。連絡を取り合う→必要な人材の活用。課題→(効果、手ごたえ)解決法を探る。</p>
<p>魅力的で効果的な福祉活動をしている組織が見当たらない。皆同じ価値観で行動しているように見えるので、連携しても同じ。従って、現在の組織の中で市や市民に貢献したい。</p>
<p>民生委員活動の負担軽減、活動範囲を越えた支援活動等について、継続して繋げていくため。</p>
<p>民生委員協議会的な場での、地域の障害者支援機関との意見交換。他の組織、団体がしている活動や対象があるから、他の組織が一組織に任せて関わらないのではなく、負担を共に負いながら、重複した関わりを持ち続けることを相互に認め合えるようにする。</p>

<p>私達が進める人工林の間伐方法は小さい子どもからお年寄りまで、だれでも楽しくできるものです。その特性を生かし、様々なグループ、団体と連携して活動することができます。また、その間伐林を活用した木工体験にもつなげることができます。更にはその間伐材での商品づくりまで広げていきたいです。その活動を通して、地域の活性化にもつなげていきたいです。日本全国、牧之原市でも手入れのされない人工林、竹林が目立ちます。それを何もしないで放っておいたら、土砂災害にもつながってきます。そこに目を向けてもらい、地域で取り組んでいく意識を持ってもらえればと思います。子ども達には、自然体験を通して森を守る事は海を守ることにもつながることを知ってもらおうおはなし会もしたいです。また、海や川の清掃活動への協力もさせていただければと思っています。</p>
<p>自立と連携ということを1つのキーワードとして考えています。私の所属は学校ですので、学校としてよりよい方向を考え実践しながらも、他の組織と連携を深めていきたいと思っています。今後新たに他の組織と連携をとるのではなく、今連携している中でよりよい連携をさぐっていききたいと思います。</p>
<p>少子化の中で光がみえにくくなっている昨今、どの団体どの団体と分けずに、みんなでという意識をもちたい。</p>
<p>地域的に各自治会（各区等）単位での交流の機会や場づくりを増やしていったらどうだろう。</p>
<p>町内会等がどのような人や場所にボランティアが必要かを提示し、それを把握し、人を動かす小回りのきく組織が地域の中にあったら、ボランティア精神がもう少し根付くのではないかと思います。</p>
<p>問 3-1 と同じ。</p>
<p>連携という曖昧な表現は、避けた方が良い。まずは一人ひとりが、どうしたいか、組織、団体としてどうしたいか、市町・県・国として、どうさせたいか等。話し合う場が必要。</p>

## (2) 自由記述

**その他、誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。**

自由記述
<p>「コミュニティバスの運行」島田市や菊川市で運行していますが、ノウハウを勉強して牧之原でも医療機関、スーパー等商業施設、公共施設等の誰でも利用できる交通手段をして運行したら良いと思います。市の財源対策が必要ですが。</p>
<p>「まきはぐ」「あるたす」など新しい取り組みが始まって、とても良い事だと思います。ただ高齢者に「あるたす」を紹介しても、なかなか利用したいとは言ってもらえず、どのように使ってもらえばいいのか難しい所です。</p>
<p>地元（区、組）を」活用する。区長、区会議員、組長への意識啓発必要→各個人へ展開。 ボランティア登録も地元（区）を活用する。（例、各区とも区会議員の内、1～2名ボランティア担当とする。）ボランティアはまったく無償ではなく、かと言ってシルバーセンター並みに払っては財源が無い。長く継続していくには、一例として200円～500円/H、多くの人の意見を聞いてはどうか。ボランティアと一言で言ってもかなりやる気のある人、そこそこの人、ちょっとだけならという人等色々いるのでランクをいくつか設ける。 地元（区）でまとめる人には、それなりの手当を支給する。 問 11 で書いたように地元として（全地区共通して）何が出来るか、どこまで出来るかを設定し、できることから徐々に実行していく。</p>

自由記述
1年目で暗中模索です。
27年度に町内会長をやり、その際榛原病院南側の佐渡り川の改修の話がありました。堀之内町内会の一部、根松町内会の一部は大雨の時、台風の時などはサワタリ川が溢れ、冠水状態になって床上浸水になる家庭もあります。これについては市の方でも承知している事と思いますが、市民としては一刻も早い改修工事をしてもらい、大雨が降っても安心して入れるようになりたいのですが、会議後、何か手を打っているかわかりません。やっているとしてみてもあまりにもスピードが遅いです。
いざと言う時は、地域の力や近所の力が大切になる。日頃から近所の状況を把握しておく必要がある。地域のリーダーを育成し、地域の絆を深めていく事が大切である。また、地区のイベントや行事には参加を勧め、多くの人との絆をつくる。牧之原市も高齢のひとり暮らしの生活者が多くなり、買い物や通院するのが大変です。行政が中心になり、福祉の向上をお願いします。
居場所づくりなどへの参加をさらに呼びかける。いつも決まった人々しか参加していないので、もっと誰もが参加できるような内容、呼びかけ方を工夫すべき。一人ひとりが住んでいる、その地域での支援がまず大切である。子ども学習権の確証。貧困家庭への支援。教育を受ける権利の保障。大学、高校。
多くの活動分野（問1）に限られた選択回答（3つ）をさせるのは、難があり、答えられない。赤い羽根募金の企業募金回収を社協から委任されて（委任状）、非常勤公務面の民生委員が回収に回る。現状は、今までやってきているから文句が言えない雰囲気ですが、郵便や振り込み（長年協力的な企業等）ができませんか。事業費として活用している社協が汗をかかず、ボランティアに投げるのは正しいとは思えません。対象企業が多い委員は大変な作業のようです。人を雇うなど検討してほしい。昔の民生委員は名誉職的な所もあったのですが、これからは受ける人が減ると思います。何でもやらせるのではなく、「ひとり暮らしや病気がちな老人等の見守り」を本来の委員業務を専念させ、イベントの手伝いなどは控えるなど、精選して活動させるべきだと思う。民児協にすべて任せるのではなく、行政の助言や指示が重要です。
オムレツクラブは平成6年12月より、ひとり暮らしのお弁当づくりとして現在まで活動を続けてきました。現在ボランティア活動に参加している人達は全員70歳を越えている方ばかりです。私も今年で83歳になりました。いつも全員楽しく、つまづきもなく続けられた事に感謝しております。今は、少しでも後継者の方々が参加して下さる事を願っています。私達も小さい力ですが、頑張りたいと全員思っています。
会員の多くが高齢者となり、特に自分は花の会会長としても高齢者だけでなく障害者でもあり、とても大変です。役員の後継者がなく困っています。
各家庭で抱えている問題を抱え込まないよう、分野別に相談しやすい場の提供が大事だと思う。具体的な解決はできなくとも心の負担を減らす、相談したことにより新たな道が開けた等、少しでも前に開けるようなサービス提供、場づくりを望みます。地域での人のかかわり方を考えていきたい。
学生ボランティアの育成、そのための環境づくりの推進。ボランティアコーディネーターの積極的活動、攻めの活動をお願いしたい。支援を必要としている人、支援ができる人。何の支援をしてほしいか、何の支援ができるか？待つ、ではなく行く。
各地域で小さくても居場所をつくることができたらと思う。社会福祉課または行政が協力してお金の面でも支援してもらい、地域での仲間を増やして、いずれは自分達でやれるのが理想です。

自由記述
<p>学校訪問した折、以前と比べて発達障がい児の人数が増加しているように感じる。以前は学校で5～6%の割合で在席していると言われていたが、学校内の問題として終わらせる事なく、社会全体で子、保護者（家族）、周りの者等が関わり方や支援の仕方を学ばなくてはいけないと思う。また発達障がいの支援センターを設置して、子ども、成人に関わらず個別に相談に応じる（専門家を常駐させる）場所が必要である。早急に市でも対応してほしい。</p>
<p>金銭的な支援ばかりでなく、人的な支援を充実することも必要なことと思います。</p>
<p>車の運転免許証を返納する人が増えてきています。また車の運転をやめようと思うけど、やめたら買い物にも行けなくなるから返納できないと言う方もいます。病院や買い物に行けるように、福祉バスがあると良いと思います。坂部だけでなく、他地域にも実施していただきたい。</p>
<p>現状を細かく知らないので、答えられない箇所がある。今後のまちづくりの方策を明確に示してほしい。人口の増加をさせるためには、若い人達が住みよいまちとは子育てしやすいまち等、高齢者の事を考えるのも大切であるが、それ以上に若者たちの事を考えた対策を考えてほしい。多くの人が楽しめる場所をつくってほしい。</p>
<p>公民館をもっと利用できるのではないのでしょうか。参加費を押さえた趣味の講座、お困り講座（庭の手入れ、掃除の仕方）、ランチ会、カフェ、子どものおやつと宿題をする場所。車を使わなくても行ける場所＝子どもだけ、老人だけでも参加可。いつでも行けば誰かがいて、お茶をいただけるような。子どもだけで行っても宿題ができて、おやつもあるような。</p>
<p>高齢者は今後も進みます。行政の方々は、高齢者に対応するテクニックのようなものを研修する必要があると思います。窓口での混乱を時々目にし、大変だなあと感じます。</p>
<p>高齢者福祉は大体行き届いている。今後、子ども達の幼児教育（無償化）などに財源を当ててほしいと思います。</p>
<p>子育て支援をするためにも、受け入れ体制として施設の充実と保育士、保育教諭の確保をしっかりとっていただきたいです。</p>
<p>子育てしやすい環境づくりが必要だと思います。例、公園づくり、図書館など。園の近くにも遊べる場があるといいと思います。園外保育で利用したいです。</p>
<p>子育てや高齢者に一番心配なのは、病気になった時の医療の充実があれば安心して暮らしていけると感じます。榛原病院の医療体制や、牧之原市には小児科の専門の要因の充実を望んでいます。民生児童委員の活動をもっと知ってもらうため、気軽に相談をしてもらえように活動内容を知ってもらい、誰でも相談できるように市民にわかってほしい。私達はいつでも心を開いて待っている事を知ってほしい。ちなみに御前崎の産業祭では、民生児童委員雄活動を知ってもらうブースがありました。</p>
<p>子どもを持っている母親達から男の子が土曜、日曜にサッカーや野球で遊ぶ場所が無いという意見をよく聞きます。近所で遊んでいけばボールが飛んでくると叱られ、公園にはそのような場所も無いという事です。高齢者のグラウンドゴルフ場はあるが、子ども達が自由に遊べる場所が少ないとつくづく思います。ネット社会になり、商店の維持も大変だと思いますが、若い人達が住みやすくするには医療の充実と、大型店の出店も必要かと思われます。それと公共交通手段の充実だと思います。</p>
<p>このアンケートを書き込みながら考えました。質問の仕方、言葉使い、関係ないと思っている人にとっては大分通過読みされてしまうのではと心配。書いて返答している時間ももったいなく思ってしまうのではと…。難しですね。でも何らかの形で1人でも多くの方の返答ほしいですね。お世話様です。</p>

### 自由記述

これからの各種福祉サービスは、各種福祉利用程度の充実に加え、地域住民の自助、互助等が主体となると思います。しかるに、地域福祉の基盤構築上、共有し、高齢者（介護）、障がい者、児童、健康推進等々連携を図りつつ、福祉サービスが推進されていくものでありましょう。地域福祉計画の位置付けは、そのためにも福祉サービスの全体を見つつ、策定されなければならないと思います。

これと言った特徴のない市なので、資本投下してイベントや魅力ある若い人の集まる店舗等を誘致し、他地区の真似事でない「わくわく」するような地域づくりを進めれば、人は寄り必要な人材や施設ができ、結果弱者でも住みやすいまちができると思います。まずは人づくりからスタートでしょう。良い市職員（有能な）を採用し大きく育てて下さい。

坂部区の中（1町内会～6町内会）において、年代によって参加、協力ができるできないの差がありすぎると感じています。高齢者においても、70代後半～80代半ばの人達は農作業に精を出している町内会の現状もあり、サロンとかには参加していないが、月2回は輪投げ、グラウンドゴルフを楽しんでいる老人グループもある（坂5町内会においてです。）。また男性の参加が無い。今後どの年代においても参加してもらえよう居場所づくりのPRなどが必要かと感じています。みんなに知ってもらおう。もっと関心を持ってもらおう。私自身今だからこそ関心が出ましたが…。第二次、第三次新しい取り組み等も知らないので終わってると思う自分もいます。このアンケートは難しいです。地域、町内会班ごとでまず情報共有しないと…。

サロン活動の際、DVDを使ってやりたい時等、プロジェクターがあつたら良いなあと思います。（高価なので無理かと思う。）公民館のAEDの設置を願います。リースという方法でも良い。

支援を必要とする方々が、民事委員等に気軽に相談できるようにする事が必要な事と思う。そのような方々からの声を待っているんだけど、事は前向きにならないのでこちらから出向く、声掛けをする事で交流のしやすいようにしていく事が必要だと思っている。

時代に合わせた民生委員が必要。地域の人に民生委員を知っていただくように活動していきます。

自分達の子ども世代の人が住みやすいように。福祉の充実も大切ですが、ここに住みたいと思うような働く場所があると良いと思います。

市民ボランティア意識を高める事を、あらゆる場で市民に周知することをしてほしい。ボランティアがやれる人が自分の趣味だけをしていることもあるので、共助の精神をもってほしい。

市民を大切にすること。

住民の声が大切であると思います。今何を必要としているのかを、しっかりと受け止める事から始まるのではないかと思います。

少子化対策の充実。子ども手当の検討。独自の取り組み。県外で教育を受けた者が帰郷した場合、職業等の支援の充実。県企業に就職したが、家等で帰郷した場合の企業での支援。本人と面接。農業、工業がバランスの取れた若者の生き甲斐のあり方の方向性。

白雪姫プロジェクト（ネット検索参照）のように、重度障害の方の声なき声を拾う活動を通して、真に人間の尊厳や人格があることを知るような啓発の機会が続くとよいと考えています。

人口の減少をくい止め、若い人、子どもが増えていくのが望ましいと思う。そのためには働く場の確保だと思う。魅力のある会社の招致、人が集まる場をつくる。生活しやすい環境づくり。交通網の整備。今ある自然（静波海岸など）を広く知らせて魅力を伝え、人を集めるイベント等あるといいと思う。

## 自由記述

住みやすい、楽しいまちづくりは団体やグループでなくともできると思います。一人ひとりが自分の住むまちの良さに気づき、楽しいことをしていく…。大変なことを楽しいことに変えていくことができれば良いと思います。私が思う地域活性は子ども達が、このまちが好き、ずっと住みたいと思ってもらうことです。子ども達は大人を見て育ちます。大人がつまらないと思って生活していたら、子どももそう思います。大人たちがなんだか楽しそうにいろいろやっていることをただ子どもに見せるだけで良いと思います。お金を地域に落す仕組みを…とよく言われますが、それは後からついてくるもの…。まずは一人ひとりの気持ち、心を動かすのが大切だと思います。そして何か1つ「やってみる」こと。考えていたって始まらない。できる事を小さなことでもやることできっかけになります。そして続けることが大切です。市に要望することは、支援のマッチングです。例えば竹粉碎機を借りたいと思ったのですが、2t車が必要だったため、それが手配できず見送りました。軽トラックに積めて小回りのきく小型の粉碎機があれば借りやすいです。せっかくの貸出制度でも利用しやすい物でなければ意味がないのでは？と思いますので、そのあたりをお願いしたいです。

生活弱者を平等に、いかに守るかを考える。

それぞれの地域において、隣近所、地域ぐるみでの支え合い（相互依存、相互扶助）が必要な事と思います。お互いに、他の人を思う気持ちが大切な事と思います。

地域で暮らす障がいを持った方達を、多くの住人の人達が理解してもらえたらと思います。「知らない」事が大きな憶測を呼び、誤解をされ、地域住民と障害を持った人達の溝を深くしてしまいます。まずは民生委員の方達が積極的に（と言っても負担にならない程度に）かかわりを持っていただけたらと思います。その姿を見て、他の人達も少しずつ少しずつ、溝が埋まっていけると嬉しいです。障害を持った人達はその障害、特性から関わりが難しい方達がたくさんいらっしゃいます。ぜひその方が利用している事業所もしくは福祉課、生活支援センター等にご相談いただけたらと思います。「孤立」しては生きていけません。ご利用者の方やご家族の方にも積極的に、地域の活動には参加してもらえるように伝えています。警察の方にも理解していただけるとうれしいです。

地域の高齢化が進むにつれ、住民同士の支え合いが必要になってくると思います。地域で起きた問題等については、できるだけ地域で解決していく。必要な支援については、できる範囲で支えていく。また、関係機関との連携を図って行くためには、地域の福祉課題の組織づくりが必要になってくると思います。公民館の活用。子どもからお年寄りまでが憩いの場所として、常に開放していく。例えば、お年寄りがお散歩の帰りによってお茶を飲んだり、近所のお友達とおしゃべりしたり、お弁当を持ってきて1日過ごすような場所づくり。子ども達も学校から帰ってきたら公民館で遊んでも良いし、勉強も（宿題）やったりと、親たちの留守の間で少しでも地域の人達と触れ合えるような場所。実現するには難しいかもしれませんが、管理する人誰がやるのか？など。ただ公民館を閉めたままにしておくのは、もったいない。地域で支える輪を広げ、地域が明るくまあ安心して暮らせる場所であってほしいと思います。地域サロン、老人会などでは、月合計6回使用しています。

定年退職した方に様々なボランティア活動への参加を促す、市からの働きかけ、情報提供を積極的に行ってほしい。元気な高齢者のボランティア活動が、明るい牧之原市をつくっていくと思います。

とにかく福祉は人を駄目にするとの声も聞かれる昨今、情報化時代にて知り得ますし、民・民由に問題になりやすいという部分がありますが、現在あります居場所がより長く続き、高齢者のホットラインでいる事を望みます。子育て、教育要領も変わりつつ、学校教育、地域との関係構築を保てればと願っております。共有できる体制の大切さも感じつつ、福祉＝垣根のない支え合いっこ！今後もご指導の程宜しくお願



## 自由記述

い申し上げます。

長野のどのまちかで、保健師が各地区毎、担当が決まっていて血圧計とかを持ち、廻っていきながら担当地区全体を把握し、健康長寿上位を占めているという記事があった。人と人がつながるような、そんな取り組みができればまちも明るくなるかも。

乳児から高齢者までが安心して住めるよう金銭的、人的支援が必要ではないでしょうか。

引きこもりの家族を抱えたお宅が、思いのほか多く、家族の負担も大きい。本人にも家族にもサポートが必要だと思う。高齢者や障害のある方を地域でサポートしていくためには、小さい頃から、年を取ったり障害のためにできなくなる事、できない事があるのは、自分の身に起きる事で特別な事ではない。少しの手助けや工夫でなんとかなる事も多いと、肌で感じられる取り組みが必要だと思う。

人それぞれの状況は異なるので、「誰もが住みやすい街づくり」はありえないかなと思います。もう少し焦点を絞ってもらおうと書き易いかな…と。

一人ひとりが地域の中に自分の居場所があり、自分の地域に関心を持てるように様々な人が交流し、繋がりをつくる出会いの場を地域の中に広げていければと思います。

ひとり親家庭等、子どもか学生なら地域に関わり、行政の目が届いているが、成人したその後は地域や行政の目がいなくなる。生活保護とか申請をして利用をして。知らないと利用できない。置き去りになっている人もいるのではないかな。離婚してひとり暮らし（アパート等）、地域での防災訓練や地域との交流はとりづらい。いざ震災あったりしたら、行政からの目もなく忘れられる存在ではないのか。市役所での対応の悪さを目にする。特に4月の移動時で訳のわからない人が対応をすると、どれだけ時間がかかるか。

他の市町との交流や連携。

ボランティアの活動に入る心がけができていない。そんな事をしたら損だという心がある。その心を入れ替えなければだめだと思います。社会のためになるよう、心掛けをつくる事が大事です。

ボランティア精神を育てて、地域の人々誰もが困っている人に、あるいは、町内のために働き、助け合うことが大切だと思います。同時に子どもの時からの教育が必要だとは思いますが。学校の授業の中に、あるいは行事として取入れまた家庭の中で、家族みんなボランティア活動をする。そんな地域になれば良いと思います。社会福祉課の担当の方の望むような回答になっていないと思いますが、一応アンケートは提出させていただきます。

牧之原インター、陸橋交差点より牧中、小方面に行く土手草、通学道路も含めて下方のみならず、上まで刈り込んでもらいたい。（美化活動）

牧之原市がより一層発展するために、行政と市民が協力し合い住みよい街にしていきたいと思っています。

牧之原市には素晴らしい高齢者や障がい者対象のサロン、セミナー、老人クラブ、その他の勉強会など数多くのサークルがあります。しかしながら、高齢者や障がい者は車に乗れない方や運転免許証を返納した人も多く、現地まで行くのが困難です。参加したくても参加できない方が少なからずいます。居住地の中で歩いて行けるところに、居場所をつくったらどうでしょうか。また、外出が困難な人はデマンドタクシーや運転ボランティアなどを利用したらいかがでしょう。公共交通機関と言えば、この地域では路線バスしかありません。バス停まで徒歩での往復は、とてもつらいものがあります。数多くの高齢者や障がい者が、安心して各サークルに参加できるような環境づくりが大事ではないかと思っています。近年、ボランティアも数が増えています。むしろ減少しています。社協任せではなく、市としてボランティア人口を増やすため、より一層の啓蒙活動が必要ではないでしょうか。

### 自由記述

孫を連れてよく静波の児童館を利用しますが、古い玩具が多く壊れている物が多いので、少しづつ入れ替えをしてほしい。建物も古いので、建て替えを考えてほしい。利用者も増えてくると思います。

まだまだわからない事があり、先輩の民生委員に訪ねている状態です。町内を良くするために自分の役割を実施し、わからない事、良いと思った事を聞き、少しでも実現できるよう自分のための勉強と思い、進めていきたいと思っています。

未婚率の上昇や晩婚化で親の介護を巡り、困難に直面している家庭が増加している。介護と就労の両立には何が必要か？市内に受け入れてくれる企業がどれくらいあるか。高齢者宅への食事と安心外出、買い物支援が必要。

民生委員が何をやっているのか知らず、興味もありませんでした。お鉢が回ってきて日々勉強中です。会社仕事一辺倒の自分の世界が広がっていき、知らずお世話になっていたんだなあ、恩返しをしていく番なんだなあと思う反面、面倒くさい気持ちもあります。自分から福祉に働きかけていく事はまだ先だなあと自覚しています。皆のやり方を見ながら、住みやすいまちづくりに貢献できればなあと思います。

若い世代の支援者の人材育成と人材募集をしていただき、高齢社会に備えていただきたい。市全体のグループホーム、シェアホーム等、家族亡き後の当事者達の住む居場所をつくっていただきたい。理想としては、どの世代も一緒に住めるコミュニティのようなものが必要と考えますが、とりあえずは市主体のグループホームを（さまざまな型のもの、アパート形式であるとか、今までと同じ様な型式のもの、重症の方々でも住むことのできるグループホーム）。

若い世代の人達が住みたくなるような市にしていく。安心して子育てできる市にしていく。

私の住んでいる坂部六町内会はまちづくりに協力してくれる仲間はいませんが、お互いにお仕事で忙しかったり、また、若い方は勤めており、計画にも参加できない方もいます。しかし、現在実施している坂部のまちづくりでの坂六の行事は、参加協力者共に多くいて嬉しく思っています。それは一人ひとりが役員でなくても、自分の居場所的に協力しようと思えば行動してくれるからだと思います。

私は長い間、障害児や障害者施設のボランティアをしていますが、そのニーズにあった介助をやっていきます。自分の生活に無理のないよう、やれる時にやれる事をやっていきます。施設の職員さんがいつでもかわりなく、暖かく迎えてくれます。この事が一番私が長くボランティアに関わっていける理由のような気がします。散歩の介助やお買い物、一年にほんの数回しか伺えない時もありますが、いつも楽しいです。行事の時など感動をいっぱいもらいます。最近はお仕事も与えてもらっています。うれしい！と言ってしまうました。いつまでもボランティア続けていきたいです。

介護認定の軽度者が多いほど、地域の支援体制を充実させていく必要があると思います。責任問題等を気にする人もいる中、助け合いの必要性を理解し、共助が実現できる地域づくりが必要だと思います。

顔が見える関係づくり。小学生の福祉教育の1つとして、朝、ひとり暮らしの高齢者のお宅に寄り、ゴミ出しの支援。地区でラジオ体操を毎日行う。子どもも若い人も高齢者でも誰でも参加できる。体操指導者のボランティアがいれば、ひとり暮らしの高齢者も毎朝顔を合わせることが出来る（安否確認）。焼津市いろいろなところでラジオ体操をやっている。

## 自由記述

旧相良町、旧榛原町を問わず、牧之原市には、地域活動やボランティア活動をしている個人、団体が沢山あります。すばらしい市だと思っています。今後、市が豊かになっていくと信じてはいますが、必要以上に行政を頼りにしないで、自分でできる事、地域でできる事は、自分達でやるという意識を持った市民が100%になればいいなと思っています。意見や要望ではありませんが、日赤奉仕団員の立場での回答はとても難しかったです。1年交替の役のため、三角巾の使い方も地域防災の日に地区内の看護師さんに講習を受けますが、実際に災害が起きたら通用するかなと思います。しかし専門性を持った少人数の人よりも、浅くても大勢の人達が、経験できる1年の交代制でいいのではと思いました。区の団員は13人で、種々の行事に気持ち良く参加してくれましたので、感謝・感謝です。また、役員になった事でいろんな方と交流できて幸せです。団員でなくて、役員をやらせていただけて感謝です。関係のない事を書いてしまいすみません。消すと更におかしくなるので、このまま出します。悪しからず。

高齢化が進む中で、ひとり暮らしの高齢者が急激に増加するだろう。この人達への健康や介護を必要とする時、適切な援助をお願いしたい。

高齢化社会への不安、私は団塊の世代です。70～80歳の間、元気に人の世話ができるような人づくりのアイデアを沢山探したい。誰も元気で人の世話になりたいとは思っていませんが、今日行く所、今日用がある、張りのある楽しい居場所をつくる一員に成りたいものです。

高齢者が車の免許を返納してもなんとか生活する上で、買い物や病院、外出する際に、行けなくなったときでも乗り合いバス（予約してでも）に乗って出かけられる等、循環バス等あればいいけれど、ひとり暮らしになったり認知症になったりした場合、生活できないことがある。榛原HPがもっと科があればいいけれど、ないのでどうしてもないところは他市町へ行かなくてはならない点、萩間線もJRと連携していない部分もあり、乗りかえするときにバスが出てしまうこともあるので、バス乗り場までの時間を確保してほしい。そうでなくても、自主運行で乗ってもらう方がいいのなら乗れるように工夫して、利用している人の身になって！研修も榛原のさざんかを利用する事が多いけれど、出前研修すれば、地域の方も交えてやってみたらどうか？。

高齢者の健康寿命の延長は、市民がこぞって賛同するところであると思います。その一翼を担う高齢者の集団として老人クラブが存在しますが、近年、老人クラブの加入者が極端に減少しています。牧之原市が誕生した時点では、6,000人近くの会員がいましたが、現在2,000人余りとなり、当時の3分の1に達するに至り、逆に65歳以上の人口は32%も増加しています。その主な原因は、若手の加入がなく、従って全体的に会員の高齢化が進み、役員選出が困難になり、結果は役員のなり手がなくなってしまい、役員の若返りもなく、これによって役員の高齢化が生じ、運営がマンネリ化に成る素因を生ずる事で、ますます加入を阻害しております。この現象を打破するには、どのような方策をこころずるべきかを、高齢者福祉の観点から切に考えるべきだと思います。

今回地域福祉に関する協議会に参加させていただきうれしかったのは、いろいろな立場で福祉に関わる方とお話できたことです。住みよいまちにするために、「どんな所にどんな人がいて、どんなことをしようとしている」かとか、市としてどんな構想をもっているかなどを知ることがスタートではないかと思えます。その上で自分の立場で何ができるかを考え、だんだん輪を広げていくことができたかと思えます。市全を動かすことは大変なことです。一人でもそうした事に関心をもつ人や現状を知っている人が増えていくとよいと思っています。今後もよろしくお願いいたします。

今後増加していく高齢者が安心して、充実した生活ができるよう、趣味活動や生涯学習活動の支援の充実。高齢者の技能を活かしたシルバーボランティア活動。生涯スポーツの種目の増加及びそのスポーツを活か

### 自由記述

した若い世代との交流。幼稚園・保育園等での交流。昔の遊び、行事の伝承等。

市行政の広報紙「まきのはら」、社協の広報紙「ふくしだより」の紙面掲載を各団体に呼びかけて、年1～2回可能にし、各回の字数、スペース等も意見調整し、各ボランティアの後継者、仲間が増えるように。また、一般市民が利用を増やす事により、市内に皆元気な人が多く、ボランティア提供者もやりがいを感じ、利用者も愉快地に健康な生活ができるように心掛けたい。

若い人達の家族は、幅広く出かける場も多い事から、年の老いた人々の遊ぶ場が少ないためにいつまでも若く若者達の足でまといにならないように生きたいとだれしもが願うことだと思う。自分の考え方もありますが、地域の交流が一番だと思います。今からは、地域で年寄りを見てあげる時代となってきました。皆で協力しながら、取り組んで行くようにしたいと思います。

初めての役員で決められた用件だけで動いているので、全体的な内容は良くわかりません。

新幹線駅の設置が、人口流出の歯止めに絶対必要。設置できれば、それを核として、住みやすいまちづくりのコーディネートはいくらでも可能。

新規の方のお宅に初回訪問をした時、その方の家族の方も障害者やひきこもりの方も居たりすると、ケアマネのみだけではなく、行政や包括等に相談を行うようにしています。今の生活が少しでも改善され、気持ち良く生活を送っていただきたいと思っています。

総合計画の中でも、優先順位を決め、それに向けて実行に移して、成果を上げていくことが必要と考えます。例えば、近年発達障がいの子供が多いと聞いてます。原因（を追い）究明、対策が急務ではないかと感じております。子育て支援、教育。子どもが明るく元気に育ってくれていれば、家族だけでなく、市全体の明るい未来がみえてきます。